

令和元年度 事業報告

○概要

今年度においても高齢化社会の担い手として基本理念である「自主・自立・共働・共助」のもと、地域の皆様からの期待に応え、信頼されるセンターをめざし、美作市をはじめ関係機関のご支援とご協力を得て、業務を推進してまいりました。

また、今年度は平成から令和へと元号が代わり新たな時代が始まりましたが、年末になり中国で「謎の肺炎」が報告され、瞬く間に世界に広がり年度末が近くなる頃には新型コロナウイルスの感染拡大をパンデミック（世界的な大流行）と設定されました。このウイルスは特に高齢者が重症化するリスクが高いとの報告がされた為、当センターでも感染拡大を懸念し新しく企画したさまざまな講習会を中止することとなりました。会員また一般市民の方からの受講も受付し、参加希望人数も定員より多くの申込みがあり大変期待していただけに残念でした。

このような状況下において令和元年度の事業実績は、会員数が 293 名で前年度より 5 名減となりましたが、契約金額は前年度比 104%の 117,822 千円、受注件数は前年度比 108%の 2,592 件の実績をあげることができました。

派遣事業の実績については、前年度より受注件数は 3 件増え 9 件となりましたが、契約額は 10,322 千円で前年度より 0.2%の減、就業延人員は 2,525 人日で前年度より 0.8%減と若干減少しました。今後はより一層、会員の多様なニーズに応じた就業機会を確保する為、また発注者の多様なニーズに応える為に就業拡大、会員拡大の周知活動に取り組んでまいります。

今年度は傷害、賠償の事故、新型コロナウイルスと色々な課題もありましたが、夏の暑い日の就業では各々の努力により熱中症にならずに乗り切ることができました。

高齢者が長年培ってきた知識や技能、経験を生かして生き生きと働き、地域社会に貢献できるような会員、役職員が一丸となり努めて取り組んでまいりました。

以下、事業の報告をいたします。

1. 普及啓発活動の実施

- ・機関誌への広告掲載、告知放送を活用し会員募集を呼びかけました。
- ・会員募集、お仕事募集の案内を掲載した「シルバーだより」を発行し、2社の新聞に折込みし各家庭へ配布、就業開拓員、職員が公共や企業へ訪問し配布、また公共や企業の窓口などへ設置しました。
- ・役職員、就業開拓員、会員が法被を着て「マルナカ美作店」「A コープみまさか店」の2ヶ所の店舗においてシルバー人材センターののぼり旗を立て「会員募集」「お仕事募集」「講習会の案内」のチラシ配布を行いました。お客様も快く受け取ってくださり、地域の声を直接聴く事のできる良い機会でした。

- ・市役所の各窓口などにティッシュを設置するなどしてシルバー人材センターの周知の強化に努めました。
- ・会員、役職員の知人等への声掛けによる入会の促進を図りました。
- ・ホームページの更新を増やし、地域から離れた方にも活動報告などの周知を行いました。

2. 安全・適正就業の推進

- ・「安全は全てに優先する」をモットーに安全パトロールなどで、作業前には安全ミーティングを行うように指導し、事故防止対策を実施しているところですが、傷害事故、賠償事故が発生してしまいました。今後も「美作市シルバー人材センターの安全ルール」の順守と事故防止、健康管理等を徹底していきます。
- ・「交通安全無事故・無違反チャレンジ 200 日」へ 4 チームが参加・挑戦し、今年度は 4 チームとも達成しました。
- ・適正就業の推進、就業率の向上の見地から、極力就業のローテーション化に努めてきました。

3. 派遣事業等の推進

- ・適正就業のため、企業等の発注に対し派遣事業の推進を行なった結果、就労内容や、固定労が好まれず、発注者と会員とのマッチングができないこと等もあり、なかなか契約に結びつかないことも多くありました。
- ・臨時的かつ短期的業務への雇用・就業を希望する一般求職者や会員を対象とした職業紹介事業の実績はありませんでした。

4. 就業等に関する調査研究事業の実施

- ・組織づくり、技能の向上のための役員等による研修を行いました。
- ・電話等でのお客様の声としては、感謝の言葉が非常に多く寄せられている中に就業結果について、就業マナーについて、また不正就労に対する苦情がありました。

5. 会員拡充と就業機会の開拓・提供業務の推進

- ・公共団体・企業等各機関、市民の皆様への会員拡充、就業開拓を周知する為、また公益法人組織であるということから各地区役員、会員の協力を得て公共施設等のボランティア（奉仕）活動を以下の市内 3 ヶ所で実施しました。
 - 東部支所（粟野・今岡配水池草刈作業）
 - 英田支所（英田幼稚園、保育園の剪定作業）
 - 本所（福祉センター剪定、草刈り作業）

6. 会員への技術等の付与

- ・県連合主催で「剪定講習会」「チェンソー・刈払機取扱講習会」が行われました。

- ・当センター主催で「果樹剪定講習会」「スマホ教室」を実施しました。
「つぎ木・とり木・挿し木講習会」「障子・網戸講習会」「剪定講習会」「ヘア・メイク教室」は新型コロナウイルス感染拡大予防の為、中止しました。
今後も技能の継承、知識の向上、会員拡大を図る為、継続していきます。

7. 令和元年度の就業機会の実績数

(1) 就業実人員	250名	(2) 就業率	85.3%
(3) 就業延人員	17,657人日	(4) 受注件数	2,592件
(5) 契約金額	117,822千円	(6) 年度末会員数	293名